

ホリホリの旅の絵日記

堀道広 文・絵
Hori Michihiro

vol.010

夢中で小石を拾った後に
アルミ鍋のたら汁を



旅の醍醐味の一つは「どこでも自分の行きたい場所に行く」ことですが、地元はわりと後回しにしがちなもの。そこで今回、私は「富山出身の自分が富山で前から行ってみたい場所」を旅先に選びました。

まずは、富山と新潟のほぼ県境にあるヒスイ海岸（宮崎・境海岸）です。この通称は、ヒスイの原石を拾えることに由来するそうです。波打ち際に綺麗な小石を拾うのに夢中で、足がびしょ濡れになってしまいました。こんなことって何十年ぶりでしょう。

海岸周辺の県道には、十軒ものたら汁を提供する店がひしめきあっていて、別名「たら汁街道」とも言われているそうです。そのうちの軒「栄食堂」のたら汁は、アルミ鍋で出てきて度肝を抜かれましたが、私のたら汁の概念を覆す、忘れがたい美味しさでした。

「ふれあい石像の里」と「おおざわの石仏の森」も以前から訪れたい場所でした。創設者の友人・社員・親戚など、信じられない数の「現代の人」の石像が、一体一体豊かな表情を見せていて、様々なことを考えさせられます。一人より何人かで行ったほうが、より多くの発見があるでしょう。



ほり、みちひろ ●1975年、富山県生まれ。うるし漫画家。98年「月刊漫画ガロ」でデビュー。漆職人の経歴を生かし、金継ぎも手がける。最新刊は『おうちでできるおほか金継ぎ』（実業之日本社）。